

[標準様式例 7-2]

(第 1 回、最終) 契約変更の内容

契 約 変 更 年 月 日	令和6年11月27日
契 約 業 者 名	株式会社エイト日本技術開発 東京支社
契 約 業 者 の 住 所	東京都中野区中野二丁目 2 4 番 1 1 号
業 務 の 名 称	R 6 日光砂防管内砂防施設地質調査 (その 2) 業務
業 務 場 所	栃木県日光市
業 種 区 分	地質調査業務
業 務 概 要 (変更した内容について 記述する)	当初より変更なし
履 行 期 間 (自)	令和6年7月11日
履 行 期 間 (至)	令和7年3月25日
変 更 前 の 契 約 金 額	16,698,000円 (税込み)
変 更 金 額	0円
変 更 後 の 契 約 金 額	16,698,000円 (税込み)
変 更 理 由	地質調査業務の着手に向けて順次必要手続きを進めていたところであるが、必要な手続きに不測の期間を要したため工期を延伸する。

(第 2 回) 最終) 契約変更の内容

契 約 変 更 年 月 日	令和7年2月28日
契 約 業 者 名	株式会社エイト日本技術開発 東京支社
契 約 業 者 の 住 所	東京都中野区中野二丁目 2 4 番 1 1 号
業 務 の 名 称	R 6 日光砂防管内砂防施設地質調査（その 2）業務
業 務 場 所	栃木県日光市
業 種 区 分	地質調査業務
業 務 概 要 (変更した内容について 記述する)	当初より変更なし
履 行 期 間 （ 自 ）	令和6年7月11日
履 行 期 間 （ 至 ）	令和7年9月30日
変 更 前 の 契 約 金 額	16,698,000円（税込み）
変 更 金 額	0円
変 更 後 の 契 約 金 額	16,698,000円（税込み）
変 更 理 由	地質調査業務の着手に向けて順次必要手続きを進めていたところであるが、必要な手続きに不測の期間を要したため工期を延伸する。

(第 1 回、第 2 回、最終) 契約変更の内容

契 約 変 更 年 月 日	令和7年9月4日
契 約 業 者 名	株式会社エイト日本技術開発 東京支社
契 約 業 者 の 住 所	東京都中野区中野二丁目 2 4 番 1 1 号
業 務 の 名 称	R 6 日 光 砂 防 管 内 砂 防 施 設 地 質 調 査 (そ の 2) 業 務
業 務 場 所	栃木県日光市
業 種 区 分	地質調査業務
業 務 概 要 (変更した内容について 記述する)	1. 機械ボーリング 湯沢地区、芹沢地区、鳴沢地区において精査により、 数量変更(減)する。 2. 標準貫入試験 湯沢地区、芹沢地区、鳴沢地区において精査により、 数量変更(減)する。 3. 運搬費 湯沢地区、芹沢地区、鳴沢地区において精査により、 数量変更(増)する。 4. 準備費 湯沢地区、芹沢地区、鳴沢地区において精査により、 数量変更(増)する。 また、給水費(ポンプ運転)を増工する。 5. 仮設費 湯沢地区、芹沢地区、鳴沢地区において精査により、 数量変更(増)する。 6. 旅費交通費 宿泊対象、通勤圏内対象が混在することから、旅費 交通費の率を用いない積算に変更する。
履 行 期 間 (自)	令和6年7月11日
履 行 期 間 (至)	令和7年9月30日
変 更 前 の 契 約 金 額	16,698,000円(税込み)
変 更 金 額	4,455,000円(税込み)
変 更 後 の 契 約 金 額	21,153,000円(税込み)
変 更 理 由	1. 機械ボーリング 湯沢地区、芹沢地区、鳴沢地区において精査により、 数量変更(減)する必要が生じたため。 2. 標準貫入試験 湯沢地区、芹沢地区、鳴沢地区において精査により、 数量変更(減)が必要が生じたため。 3. 運搬費 湯沢地区、芹沢地区、鳴沢地区において精査により、 数量変更(増)が必要が生じたため。 4. 準備費 湯沢地区、芹沢地区、鳴沢地区において精査により、 数量変更(増)が必要が生じたため。 また、給水費(ポンプ運転)を増工する必要が生じたた め。 5. 仮設費 湯沢地区、芹沢地区、鳴沢地区において精査により、 数量変更(増)が必要が生じたため。 6. 旅費交通費 宿泊対象、通勤圏内対象が混在することから、旅費 交通費の率を用いない積算に変更が必要が生じたため。